

第2回 船橋市健康スケール及び運動器チェック指標検討協議会 次第

平成30年8月27日  
19時30分  
保健福祉センター大会議室

[議題]

1. 健康スケール指標について
  - (1) 元気度について・・・資料1 (当日配布)
  - (2) 運動器項目について・・・資料2
  - (3) 社会参加項目について・・・資料3
  - (4) 口腔項目について・・・資料4
  
2. 運動器チェック指標について・・・資料5

## 《検討事項について》

### 1. 健康スケール指標について

#### ・健康スケール指標の項目

##### (1) 元気度

千葉大学予防医学センター辻氏が開発した、「要支援・要介護リスク評価尺度(全国版)」を逆説的に使用し元気度を計る10項目。(JAGESおよび基本チェックリストの結果および介護給付データ等から統計学的処理を行い、項目を設定したもの。)(資料1)

##### (2) 運動器項目

フレイル予備軍や要支援1相当の対象者をセルフチェックにより抽出することを目的としている。3項目のうち1項目でも該当した場合、専門職による運動器チェックの対象者となるような項目の設定となる。

身体的フレイルとロコモティブシンドロームが同義語であるため、対象となる群を抽出できるようなセルフチェック項目を抜粋(資料2)。項目の中から、3項目の設定を行いたい。

##### (3) 社会参加項目(ふなばしシルバーリハビリ体操事業評価項目)

ふなばしシルバーリハビリ体操に関する質問1項目および社会参加に関する2項目の計3項目の設定とした。(資料3)

##### (4) 口腔項目

現行の基本チェックリストの口腔に関する項目に類似した項目設定は難しいと判断させていただきました。歯科検診等への促しや一般介護予防教室への参加につなげるための設問項目の洗い出しを行った。(資料4)項目の中から、2項目の設定を行いたい。

郵送によるスケールの回収を行い、元気度による結果通知の発送及び、抽出された対象者に対し運動器チェック利用券の発送を行う。

回収したデータは、介護給付データと結び付け、3年間の追跡調査を行い評価検証していく。

### 2. 運動器チェックについて(資料5)

健康スケール(元気度の運動器該当者、および運動器設問項目該当者)により抽出された対象者に対し、リハビリテーション専門職等による運動機能評価を実施する。

実施機能数を確保し、平準化されたフィードバックを実施するため、既存の評価バッテリーで検討を行った。現時点では、ロコモ度テストが実施可能と考えている。他に実施可能な評価バッテリーがあれば合わせて検討していきたい。

運動器チェック後のデータは、介護給付データと結び付け、3年間の追跡調査を行い評価検証していく